

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
2年	算数科	かけ算九九づくり	2年2組 20名	2年2組 教室	西岡 潤二

単元マップ

単元で育てたい資質・能力

- ・倍はかけ算の式で表せることを理解したり，6，7，8，9，1の段の九九を確実に唱えたりすることができる。
(知識及び技能)
- ・乗法に関して成り立つ性質やきまりを見だし，かけ算九九の構成に活用することができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- ・乗法について成り立つ性質やきまりを見つけ，進んで九九に活用しようとする。
(学びに向かう力・人間性等)

数学的な 見方・考え方

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考え，統合的・発展的に考えること

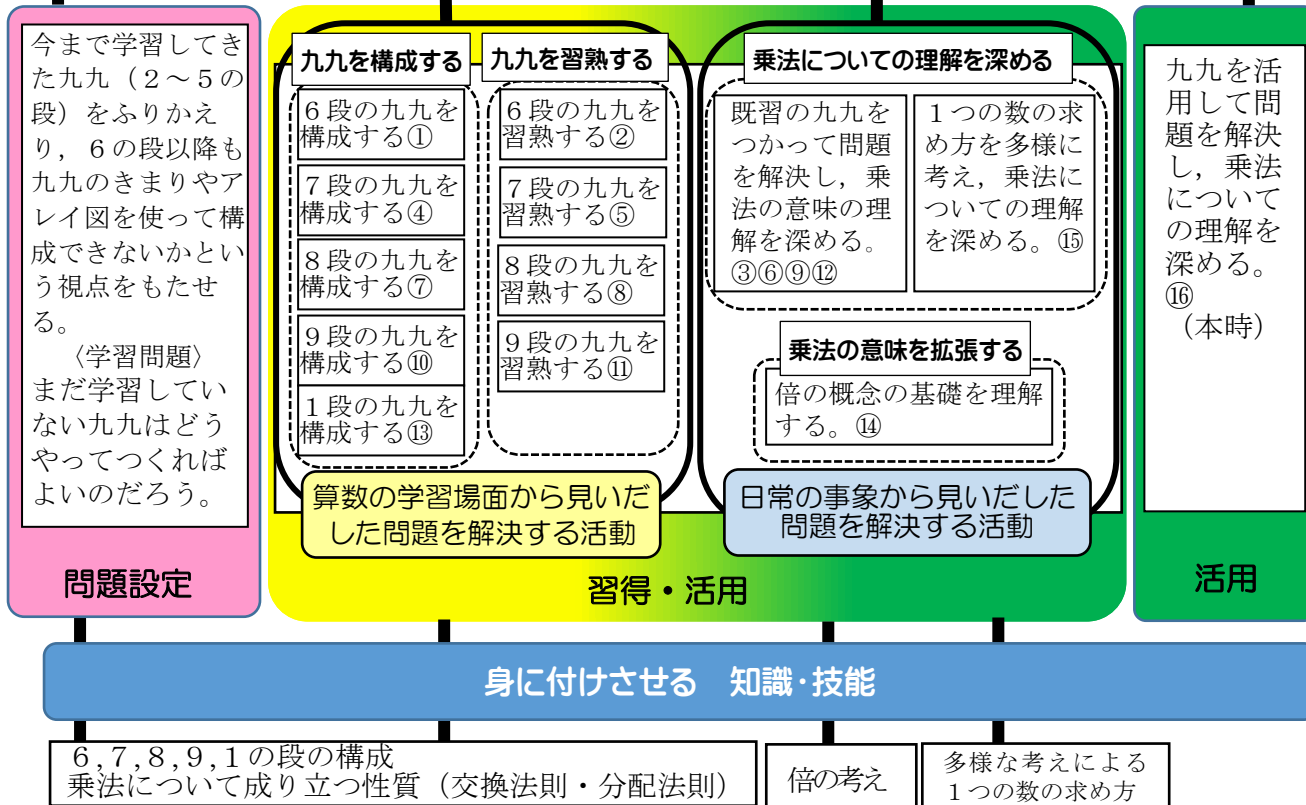
子どもの深い 学びの姿

問題を様々な視点から読み取って立式し，多様な考え方から答えを求め，乗法について理解を深めようとする姿

解決・ まとめ

これまで学習してきた九九のきまりやアレイ図を使うと未習の九九を構成することができる。また，日常生活のいろいろな場面で九九を活用することができる。⑬

育成する思考力・判断力・表現力 「乗法に関して成り立つきまりを見だし，九九に活用する力」




研究内容 2 ～協働的に問題を解決する子供～

本時の展開【16時間目／17時間扱い】* 思考アクティブ化シートB-②【対話重視】

〈本時の目標〉

均等に並んでいない場面でも、九九が適用できるように、数の求め方を工夫して説明することができる。
(思考力・判断力・表現力等)

	子供の学習活動	子供の思考	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ <input checked="" type="checkbox"/> 主な発問 ◆評価(評価方法) <input checked="" type="checkbox"/> 思考アクティブ化ポイント
導入 5分	1 前時を想起する チョコレートは何個あるでしょうか。 	箱の中に全部にチョコレートが入っていないから、九九が使えないよ。 チョコレートを動かしたら九九が使えるかもしれない。	<input type="checkbox"/> チョコレートと同じ並びの具体物を用意して、前時までの学習と本時の違いに気付かせる。
	九九をつかって、チョコレートの数をくふうしてもとめよう。		
展開 35分	2 見通しをもつ ・ニコニコシートを記入する。	チョコレートを四角くならべたら九九が使えそうだ！	
	3 追究・解決活動を行う ○個人思考 ワークシートのチョコレートを区切って考えたら九九が使えそうだ。 チョコレートをずらしたらかけ算が使えそうだよ！ 昨日までの学習から、6の段がつかえそうだ！		<input checked="" type="checkbox"/> 何の段の九九を使ったら、チョコレートの個数を求めることができるかな。 <input checked="" type="checkbox"/> 既習事項を関係付けて、数の求め方を工夫する。 【思ア⑦関係付ける】
	○全体交流 上3つをずらすと、 $6 \times 4 = 24$ 24個になる。 上下分けると、 $2 \times 3 + 3 \times 6 = 24$ 24個 右9つを上につけると、 $8 \times 3 = 24$ 24個 くり抜くと、 $5 \times 6 - 2 \times 3 = 24$ 24個		<input type="checkbox"/> 式が違ったり、様々な考え方があったりするおもしろさに気付かせる。 <input checked="" type="checkbox"/> 九九を使って、数の求め方を説明している。 (発言、観察、ワークシート)
	4 まとめる いろいろなまとまりをつくることで、九九が使えてチョコレートの数を求めることができる。 ○適用問題を解く。 くふうしてもとめましょう。	まとまりで考えると九九が使えそうだ！ 工夫してもっと簡単な方法で求めたいな！	
終末 5分	5 振り返る ・ニコニコシートを記入する いろいろな場面で九九が使えるんだね。		

